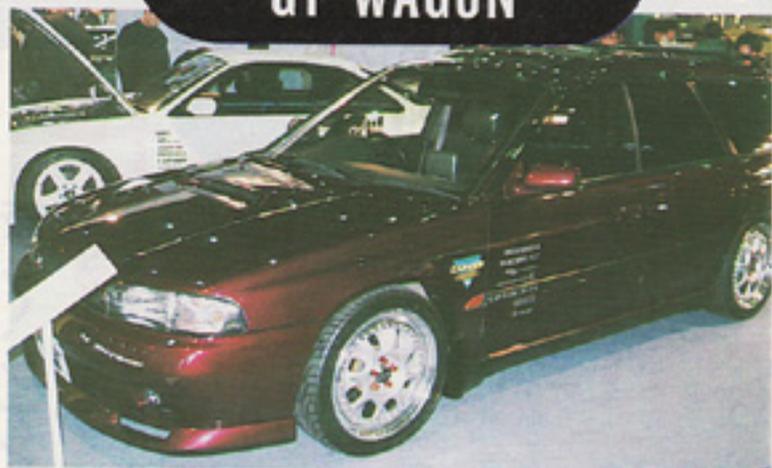


It's WAGON's
new Stage.

TRUST
GT WAGON

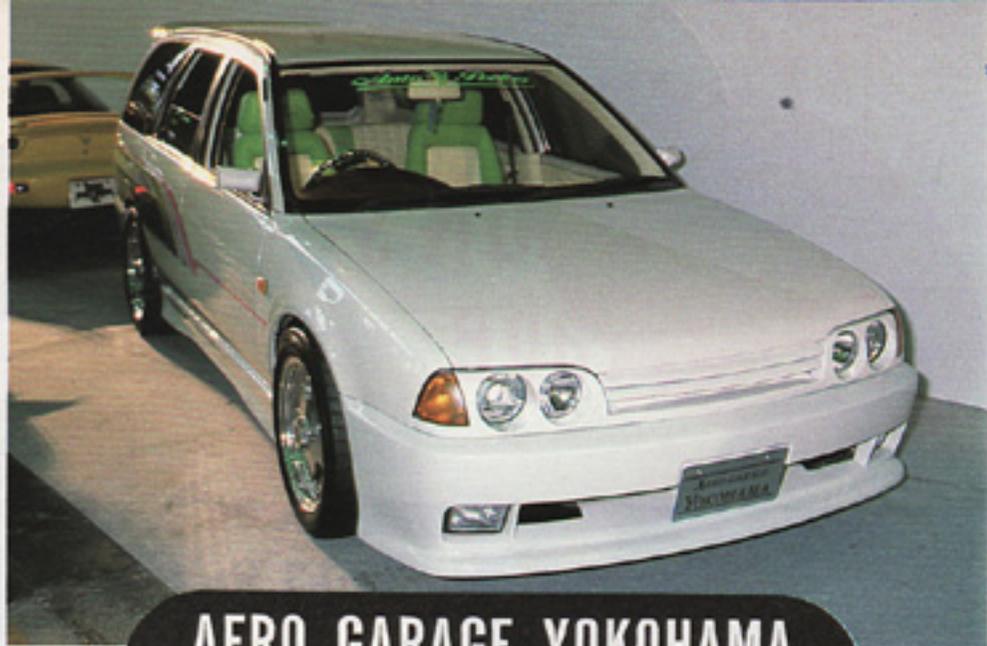


トラストもワゴンに注目した
シルビアなどのスポーティカーイメージが強いトラストも、いよいよワゴンを手がけた。素材はレガシイワゴン。ドレスアップパーツとして、フロントリップスポイラー、リアスポイラーといったところ。残念ながら、発売開始はまだまだ先のような。やはりトラストがデザインするだけあって、いかにも「遠慮」な顔つきになっている。レガシイが持つ足を、ハタタリに終わらせないドレスアップともいえる。このような、ワゴンにキャンブなどのアウトドアという図式は成り立たない。まさに、ワゴンにもドレスアップの大きな波がやってきているのだ。早いうちの発売が待たれる。

TRANSFORM DATA

フロントリップスポイラー	未	定
リアスポイラー	未	定

問：トラスト
☎0479(77)3000



AERO GARAGE YOKOHAMA
アベニール

TRANSFORM DATA

フロントバンパー	6万円
フロントグリル	2万8000円
エアロミラー	3万5000円
サイドステップ	6万円
リアアンダースポイラー	4万円
リアバンパースポイラー	5万円
Rゲートスムージングパネル	2万円
ロッカーパネルポイラー	1万8000円
アイラインガーニッシュ	1万5000円

問：エアロガレージ
☎044-888-2984

あまりにシンプルすぎて、ノーマルではとても乗る気になれないアベニール。しかし、パーツもだんだんと数を増してきているし、ドレスアップワゴンとしても「いける」。

フロントだけでも、バンパースポイラー、グリル、Y32を思わせるアイラインガーニッシュ、エアロミラーが装着され、アメリカンテイストが色濃く出ている。ミラーは、スポーティカーとはまた違ったアプロッチで、ポイントの高いトランスウォームである。厚みを持たせたサイドステップ、リアはアンダースポイラー、バンパースポイラー、ゲートスムージングパネル、ロッカーパネルと豊富なラインナップで、のっぺりとしたリアビューを彩る。

オートサロンに出展されていたのは、ホワイトであったが、また別のカラーであると印象が違ってくる。これは、ホワイト以外、アメリカンに仕上げやすいデザインなのでは? と思えてくる。また、アメリカンが似合ってもいる。エアロガレージヨコハマでは他にも、カラーワゴン(フロントリップ、サイド、リアウイングスポイラー)や、アコードワゴン(フロントリップ、グリル、サイド、リアスムージングモール、カラードアモール、アイライン、コーナーランプ等)を手がけ、それぞれのクルマに合った味付けを施している。それはワゴンを知る者の自信作だ。

ポリウレタンアップで、低く、力強く、そして美しく

トラストもワゴンに注目した

スポーツカーも振り返る
インパクトは最高!

ドレスアップの目的は、やはりノーマルの物足りなさを補う、目立つ、などだろう。人と同じクルマに乗っていても、個性を大切にしたいという気持ちから、エアロの選択にも力が入ろうというものだ。ワゴンの中でも比較的パーツラインナップが多いのが、アコードワゴンだろう。ノーマルでも、トランスポータ的な感じがしないから、ドレスアップの幅も広がる。さて、ヴァーンズから発売されたアコードワゴンは、大阪らしい(?)ノリが全体に感じられる。かなりの厚みを持たせたフロントバンパー、グリルで構成されたフロントフェイスは、とても威圧的だ。フロントに負けないくらいサイドステップ、そしてリアスポイラーといったフルエアロをまとう。並のクルマでは太刀打ちできないような、そんな「自信」のようなものを感じる。どちらかといえばアメリカンの範疇なのだろうが、底抜けに明るいというより、知的さも加わっているように思う。

WELT-AG
アコードワゴン

TRANSFORM DATA

フロントアンダースポイラー	3万8000円
フロントグリル	2万9000円
サイドスポイラー	6万6000円
リアアンダースポイラー	3万6000円
リアウイングスポイラー	5万6000円
リアルーフスポイラー	4万5000円

問：ヴァーンズ
☎06(357)2447

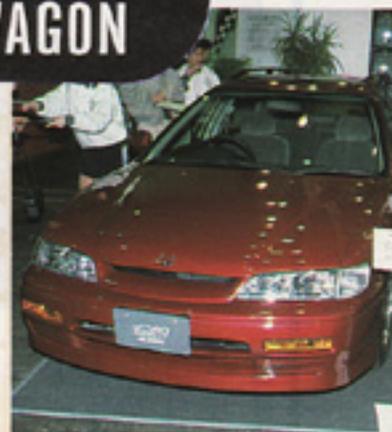


無限
ACCORD WAGON

TRANSFORM DATA

フロントハーフバンパー	8万9500円	
フロントグリル	2万9500円	
サイドステップ	9万3500円	
リアアンダーカウル	未	定

問：無限
☎048(462)3131



ホンダらしさを、無限らしさをプラス

アコードワゴンの他にもオデッセイが目玉引いた。無限が作る、ここまですべてカッチリなるのか、と感心した。ホンダのスポーティカーばかりではなく、ワゴンなどにもチャレンジというわけだ。アコードワゴンのパーツラインナップは、フロント、サイド、リアとフルでのリリースとなっている。車高も低く見え、上品なアコードワゴンが少しだけワルっぽい表情へ。それは、ひとつの無限らしさともいえる。ドレスアップされたワゴンは、アウトドアよりも洗練された街並みが似合う。もちろん走りも意識したトータルでのイメージだ。サーキットでもなく、林道でもない、そんな普通の道が一番しっくりくるのが、ドレスアップワゴンではないだろうか。